

戰史資料

步兵第三聯隊步兵砲大隊(沖繩縣宮古島)

第一步兵砲隊長陸軍大尉白井定臣

一 編成裝備關係

(1) 自己部隊編成人員

編成時

計	下官兵	准管	終戰時 將校	計	下官兵	准管	將校	本部
29	25	0	4	29	25	0	4	本部
96	92	1	3	140	136	2	2	第一砲隊
89	83	3	3	98	93	2	3	第二砲隊
214	200	4	10	247	234	4	9	計

(四) 兵器 彈藥

砲(銃)	4	連射砲(長砲)	4	小銃(九式)	90
彈藥	420	804	89	5450	

2. 職員表

編成時(終戦時)

大隊長 長谷川照敏
 少佐 鈴木正義
 副官 鈴木正義
 少尉 白井定臣
 少尉 村上行男
 軍需少尉 猪野四郎

第一中隊隊長 山極壽夫
 少尉 津原彌男
 少尉 磯山實

少隊長 小熊早苗
 少尉 土川康三
 少尉 下河邊義信

3. 人員兵器等増減關係

昭和十九年十月十五日 現地初年兵 第一歩兵砲十四名 第二歩兵砲十三名 入隊
 終戦時 第一歩兵砲 二名 第二歩兵砲 一名

總計

戦病死第一歩兵砲 十六名 第二歩兵砲 七名
 戦傷死 三名 戦病死其他 二十三名
 戦病死其他 第一歩兵砲 五名 第二歩兵砲 四名
 總計 戦死 三名 戦病死其他 三十五名

二部隊履歴

昭和十九年六月二十七日臨時編成下令(大陸命第三三七號)同日編成着手
 同月二十日編成完結 七月七日納金出發 同月二十日鮮滿國境(安東)通過
 同月二十三日釜山着 同月二十三日釜山港出發 同月二十二日門司港着
 同月二十五日門司港出帆 同月二十七日鹿兒島港寄港 八月九日
 鹿兒島港出帆 同月二十二日宮古島上陸 同日ヨリ同島警備
 自十九年十月十日 間宮古島ニ於テ南西空襲戦闘ニ參加
 至十九年十月十五日 間天號作戦ニ參加 八月十五日
 自十九年六月五日 間天號作戦ニ參加 八月十五日
 終戦詔書拜受 昭和二十年一月十一日宮古島出發
 同月十七日浦賀上陸

三 指揮隷屬關係其變遷之概要

(聯隊砲) 第一步兵砲中隊、(一) 小隊 第一大隊、

(二) 小隊 第二大隊、配屬

當初水際戦闘に参加し爾後主陣地戦闘に参加

中隊長、聯隊長直轄トシ、指揮班及彈藥手ヲ以テ切込隊編成

(連射砲) 第二步兵砲中隊、(一) 小隊、(一) 中隊長指揮第一大隊、

(一) 中隊 第三大隊、配屬

彈藥手要員ヲ以テ小銃小隊編成第三大隊、配屬

戦砲隊、水際戦闘部隊トシテ小銃小隊ハ戦闘警戒部隊

四 作戰準備關係

陣地ノ狀況

陣地ハ大部ハ洞窟式トシ、何レモ完成 或ハ概成シテリ

訓練ノ狀況

水際戰鬥手及知火砲ハ主トシテ對舟艇射撃ヲ持シ、煙内

射撃ヲ重クトシ實施シ、又對空射撃ヲモ實施ス

五 戰鬥狀況

1. 天一號作戰ニ基地防衛トシ、對空戰鬥ニ参加ス

2. 昭和三年六月 英國機動部隊來攻、飛行場砲撃ヲ

3. 連射砲ヲ以テ 敵艦爆一機撃墜ス

六 給與、衛生

補給路遮断ニテ考慮、昭和三年二月ヨリ自治態勢ヲ確立

完全自給ノ境ニ到リタルモ、六七月ニ於テハ相当ノ困難アリ

七 詔書渙發ニシテ作戰行動停止シ、大隊集結ヲ計リ

專ラ自治及復員後ノ處置ニ関シ、教育實施ス

此ノ間兵糧ノ奉還及米軍、宮古島進駐アリ